

島原半島の主要温泉街

① 雲仙温泉

火山直上型（雲仙岳の近傍に位置）温泉で、マグマ成分そのものが温泉成分となる強い酸性の硫黄泉（マグマから立ち上る高温の火山ガス）

- **主な施設**：各種レベルのホテルの多くで、立寄り湯を受け入れています。
- **特徴**：火山活動に由来する「**酸性の硫黄泉**」で、湧出するエリアによって更に「古湯（ふるゆ）」、「新湯（しんゆ）」、「小地獄（こじごく）」の3つの源泉地区に分けられ、pH 値（酸性度）、色の濃さ、肌ざわりなどに絶妙な個性の違いがあります。



② 小浜温泉

大分－島原地溝の西側に位置するマグマ溜まり直上の温泉郷であることから、高温の温泉で、温泉源の主要部分が海水であることから、高温且つ湧出量大の温泉です。

- **主な施設**：雲仙温泉と並ぶ温泉郷で、各種レベルのホテルの多くで、立寄り湯を受け入れています。
- **特徴**：マグマ溜まりで熱された海水を主成分とする熱水が噴き出してきた「**高温の塩化物泉**（約105℃）」で、25本に及ぶ掘削井戸から自噴する温泉特性に成分差は殆どなく、海水成分と類似する。尚、15千トン/日の湧出量は日本有数の量です。



③ 島原温泉

島原城を中心に栄えた海辺の城下町の至る所からこんこんと水が湧き出ている地区に位置する温泉郷です。海と山に囲まれ、穏やかな雰囲気身に委ねながら、過酷な自然と歴史に妄想を走らせることのできる温泉郷です。

- **主な施設**：島原市運営の「ゆとろぎの湯」公共施設の他、所在の多くのホテルが立寄り湯できます。
- **特徴**：泉質は無色透明で高濃度の「**中性の炭酸水素塩泉**」でクレンジング効果があり、“美肌の湯”としても有名なほか、肌に優しい中性の温泉もあります。

